事務事業名	4 0 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	∞ т=₩					事業通番		4347
学 份学未有	観光施設管理事業					開始年度	f	6和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度			
松口町凹件米	施策No.	施策No. 4-3 施策名 観光の振興		担当課名	產	業振興課			
로 쓸 있 다	会計	一般会計			款	商工費	担当係名	商	5工観光係
予算科目	項	商工費			目	観光費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

- 0 011 - 1700-0		
法令根拠、条例等	会津美里町インフォメーションセンター条例 会津美里町雀林観光休憩所設置条例	
事務事業の概要	観光客が快適に利用できるように観光施設(トイレ、休憩所、インフォメーションセンター)の維持管	理を適切に行う。
対象(誰、何を)	観光施設の利用者	
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の増加を図る。	
成果の考え方	高田及び本郷インフォメーションセンターの利用者を把握することで、適切な管理やサービス向上の成 設定する。	果と捉え、Aの指標を
【成果指標】	<u>, </u>	単位

2. 事業の実績

В -

(1) 事業費等の推移

•	(·) +xx4001ED						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
事	業費(千円)	18,807	17,253	19,778	17,600		
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他		741	609			
	一般財源	18,807	16,512	19,169	17,600		
-	2 / 25年中旬						

A 高田、本郷インフォメーションセンター利用者数(前年度(4~3月)入込数実績+5%を目標)

(2)指標の推移

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
_	23,784	26,288	33,421	27,088	
A	24,979	31,010	26,002	25,906	
_	1	-	-	1	
В	-	-	-	-	

人

上段:目標値 下段:実績値

(3)活動実績及び成果

	観光施設(トイレ、休憩所、インフォメーションセンター)の維持管理を実施した。
活動実績	
	施設が適切に維持管理された。
成果	

成果の方向性	現状維持	(理由) 対応可能な範囲での観光客の増加を目指しているため。					
コストの方向性	現状維持	(理由) 当面は維持可能な範囲で改修を行うことで、誘客に対応していくため。					
今後の方向性	現状維持	(理由) 観光の拠点施設として、来客者の利便性、快適性を追求した維持管理を継続していく必要があるため					

事務事業名	知业等内主业				事業通番		4351		
学 份学未有	観光誘客事業 					開始年度	令	和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	施策No.	4-3	施策名	観光の	の振興		担当課名	産	業振興課
予算科目	会計	一般会計			款	商工費	担当係名	商	工観光係
	項	商工費			目	観光費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をPRし誘客促進を図る。
対象(誰、何を)	観光客
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することや観光客受入環境の整備により誘客を図ることで、観光客がその情報を入手し来訪する。
成果の考え方	A: 会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値:17,000万円町内の主要な観光施設や宿泊施設への聞き取りにより把握する。 B: 会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値:16,600人数値は、町内宿泊施設への聞き取りにより把握する。

 I 成果指標
 単位

 A 観光消費額
 万円

 B 町内施設宿泊者数
 人

2. 事業の実績

(1)事業費等の推移

(「)子木貝ない正沙								
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度			
業費(千円)	8,809	12,929	18,753	10,480				
国庫支出金		3,985		2,356				
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	8,809	8,944	18,753	8,124				
	区分 「業費(千円) 国庫支出金 県支出金 地方債 その他	区分 3年度(決算) 「業費(千円) 8,809 国庫支出金 県支出金 地方債 その他	区分 3年度(決算) 4年度(決算) 事業費(千円) 8,809 12,929 国庫支出金 3,985 県支出金 地方債 その他	区分 3年度(決算) 4年度(決算) 5年度(決算) 「業費(千円) 8,809 12,929 18,753 国庫支出金 3,985 県支出金 地方債 その他	区分 3年度(決算) 4年度(決算) 5年度(決算) 6年度(決算) 事業費(千円) 8,809 12,929 18,753 10,480 国庫支出金 3,985 2,356 県支出金 地方債			

(2) 指標の推移 上段:目標値 下段:実績値

	成果 指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
-		16,720	16,850	16,900	16,950	
	A	4,680	9,256	7,682	9,821	
	-	16,400	16,450	16,500	16,550	
1	В	9,879	12,285	11,379	13,058	

(3)活動実績及び成果

活動実績	①広域連携の協議会に参加し、日本遺産フェスティバルの開催や大俵引きの開催に合わせたツアーを実施した。 ②インスタグラム「#会津美里の日々」の投稿数を増やすため、インスタグラムを使用したフォトコンテストを開催した。 ③冬の閑散期対策として、町内宿泊施設を対象とした宿泊割引クーポン事業を実施した。 ④福島県再生加速化交付金制度を活用し、向羽黒山城まつりにて人気ユーチューバーとコラボした山城合戦ゲームを開催した。
成果	①日本遺産フェスティバルサテライト会場への入場者:約650名 大俵引きツアー参加者:30名 ②投稿数を1.2万件まで増加させることができた。(前年度:1万件) ③全宿泊施設合計285名によるクーポン利用があり、町内滞在時間を延長させ、町内での消費に繋げることができた。 ④参加者:68名 YouTubeでの実況配信は24,000回の再生があり歴史ファンに向けてPRすることができた。

成果の方向性	拡充	(理由) 町の観光資源などの情報や魅力を積極的に発信し、観光誘客につなげ、地域経済循環・活性のためにも拡充していく 必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 近隣市町村連携し足並みを揃えるためにも、費用対効果を考慮しながら、効率的に観光誘客を図っていく必要がある。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 地域経済へ波及効果を促進するために、より本町の魅力を広くアピールし、誘客に繋げていく必要があるため。

事務事業名	観光対策事業					事業通番		4358	
学 份学未有						開始年度	f	分和3年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度		
松口町凹件米	施策No.	4-3	施策名	観光の振興			担当課名	産	業振興課
マケシロ	会計	一般会計		款商工費		商工費	担当係名	商	工観光係
予算科目	項	商工費			目	観光費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

・ 手未の例女		
法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画	
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動に、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。また、町民の健康増進及び町の観光振興を図るた施設の利用者が負担すべき利用料金を温泉施設が割り引いた場合、割り引いた額等に対する補助を行うやめの湯を利用していた方を対象に、あやめ荘から本郷温泉または新鶴温泉への無料送迎を行う。	め、町内の日帰り温泉
対象(誰、何を)	町民及び観光客	
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	的確な情報発信を行うことで、町のイベントや観光情報を知り、入込客数が増加する。	
①イベント(ふれあい茶会、あやめ祭り、せと市、ワイン祭り、大俵引き、ヒルクライム、御田植祭、秋季祭礼)の入込客を把握することで、観光協会の情報発信等の成果と捉え、Aの指標を設定する。②観光ガイドの実施回数を把握することで、着地型観光の成果と捉え、Bの指標を設定する。		
【成果指標】		単位
A イベントの入込数		人
B 観光ガイド実施回数		

2. 事業の実績

((1)争業實等の推移						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
導	業費(千円)	320,347	35,273	57,868	63,099		
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他		976				
	一般財源	320,347	34,297	57,868	63,099		

(2)指標の推移	上段:目標値

_	(2)	指標の推移		ا	上段:目標値	下段:実績値
	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		155,000	156,937	158,874	160,811	
	A	1,000	105,384	136,800	147,000	
1	,	80	82	84	87	
1	В	15	40	33	31	

(3)活動実績及び成果

活動実績	①観光協会に補助金を交付し、観光ガイドや情報発信のほか、「向羽黒山城まつり」「あやめ祭り」「会津美里ワインフェス」「大俵引き」などのイベントを実施した。 ②町内でイベントを開催する11団体に対し、イベント補助金を交付した。 ③本郷温泉湯陶里と新鶴温泉んだの利用者に対し、利用料の助成を行った。 ④旧高田温泉あやめの湯を利用していた方に、本郷温泉湯陶里と新鶴温泉んだに送迎するタクシーを毎月週2回運行した。
成果	①イベントの入込数は147,000人であり、前年度比10,200人増加した。 ②町の伝統的な祭り・イベントの維持に寄与した。 ③割引カード登録者が両施設合計4,800名を超え、町民の憩いの場となっている。 ④旧高田温泉あやめの湯利用者の利便増進・福祉向上が図られた。

O : AX4< N IM		
成果の方向性	現状維持	(理由) 地域の観光資源を活用し、町の魅力へイベント情報を発信することで、リピーターの増加や口コミによる新たな訪問者の誘致が見込まれる。
コストの方向性	現状維持	(理由) 観光振興を推し進める中で、費用対効果を考えながらイベントの充実に努めていく必要があるため。
今後の方向性	現状維持	(理由) 春夏秋冬と町の魅力やイベントの情報発信を行い、観光協会と連携しながら、観光施策の充実を図り、町全体の観光 振興向上に努める。

事務事業名	観光まちづくり推進事業					事業通番		14393	
学 份学未有						開始年度	平	成27年度	
総合計画体系	政策No.	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり			終了年度	ŕ	分和7年度
	施策No.	4-3	施策名	観光の振興			担当課名	産	業振興課
マ 体 払 口	会計	一般会計			款	商工費	担当係名	商	工観光係
予算科目	項	商工費			目	観光費	重点プロジ	ェクト	

1. 事業の概要

. 争業の做要	
法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画会津美里町観光振興計画アクションプラン
事務事業の概要	令和2年度に、平成27年度策定の会津美里町観光振興計画及び平成28年度作成のアクションプランの改定を行った。その後期観光振興計画及び後期アクションプランの各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、事業を展開していく。
対象(誰、何を)	観光客
意図 (対象がどのような状態 になることを目指すか)	入込数の増加及び、町内での飲食や宿泊、買い物等により消費額拡大を図る。
成果の考え方	会津美里町後期観光振興計画では、「一人当たりの観光消費額」と「観光施設における観光入込客数」を全体目標に掲げているため、以下の2つを成果として設定する。 A:主な観光関連施設から入込数や売上額等のデータを集計し、観光消費額を把握する。 B:観光施設における入込客数(寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く)を集計し、消費額の動向を把握する。

2. 事業の実績

【成果指標】

(1) 事業費等の推移

A 一人当たりの観光消費額

B 観光施設における入込客数

((1)事業實等の推移						
	区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度	
事	業費(千円)	3,117	3,180	1,657	1,758		
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	3,117	3,180	1,657	1,758		

(2)指標の推移

成果 指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	2,811	2,881	2,951	3,021	
A	3,975	2,935	3,084	4,331	
	5.3	5.3	5.4	5.45	
В	1.1	3.2	2.6	2.3	

単位

円

万人

上段:目標值 下段:実績値

(3)活動実績及び成果

活動実績	・観光まちづくり推進協議会を2回開催し、後期観光振興計画の進捗と成果を確認しながら、今後の進むべき方向性を協議した。 ・観光まちづくり推進事業補助金を1団体に交付した。 ・新型コロナウイルスの影響によって中止されていた文殊祭マルシェを再開した。
成果	後期観光振興計画の進捗を協議し、今後の方向性を決定した。 また観光まちづくりを推進する団体に補助金を交付し、本郷地域におけるモビリティの普及を支援するなど、観光周遊の交通 領域拡充に努めた。 文殊祭マルシェでは2事業者が出店し、来場者746人、売り上げ254,000円の成果となった。

TO THE PART OF THE		
成果の方向性	現状維持	(理由) 地域資源の活用、地域住民との連携、プロモーション活動、持続可能な観光といった要素が相互に作用し合いながら観光振興の成果を上げる必要がある。
コストの方向性	現状維持	(理由) 歴史的な名所、地元の特産品など、多様な観光資源があり、これらの資源を効果的に活用するため、観光資源の情報発信を強化し、観光客にとって魅力的な体験を提供することが重要である。
今後の方向性	現状維持	(理由) 豊かな自然環境や歴史的な文化資源を活かし、観光振興を図るための展開。これにより、地域の魅力を最大限に引き出し、観光客の誘致を促進する。